

レッドレグナントの23

全400口 | 1口出資額100,000円(税込) | 総額4,000万円(税込)

生産牧場 ノーザンファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



桜の舞台に駒を進めた母を超越、偉大な父の後押しに夢を確信する

現時点における馬体の特徴と適性

当クラブに所属し競走馬デビューを果たした母は、2歳8月の未勝利戦、10月の500万下サフラン賞を連勝。3歳緒戦のアネモネSで2着に入り、G1桜花賞に駒を進めました。古馬となってからも、2勝クラス道新スポーツ賞、3勝クラス多摩川Sと勝ち鞍を重ね、地力の高さを証明しています。自身の祖母は、JPN1南部杯、G3プロキオンSなどダート重賞を勝ちまくったゴールドティアラ。いとこにG3富士Sを制し、G1天皇賞・秋、G1大阪杯で共に2着したステファノス。実績が輝く質の高い母系から期待を担って繁殖生活を開始しています。待望の2番仔、父に2024年リーディングサイアー争いをリードする超一流種牡馬キズナを迎えて誕生した牝駒が本馬です。短めで遅い首差し、厚みと深みのある胸前、形状が綺麗で張りも申し分ないトモ、腹部、胸部の充実が著しい胴、脚向きが良い前肢、飛節の可動域が大きい後肢といったパーツからなる馬体は、重心の低い弾力性に富んだ動きを生み出す、強力なエンジンを備えているでしょう。仕上がりは早く、2歳夏のデビューが十分に可能。母系から受け継ぐ、優秀なマイル適性を武器に、芝、ダートを股にかけた躍進を、強く望みたいところです。

大竹正博調教師コメント

牝馬としては筋肉量が豊富で、前軀にも後軀にもしっかりと実が入っています。馬体重にも表れているように好馬体をしています。パワーも兼ね備えていますので、芝・ダート両面での幅広い活躍が想像できます。管理させてもらった母レッドレグナントとの思い出は、桜花賞に連れて行ってくれたこと。そしてタフに走ってくれてオープン馬になり、最後まで頑張ってくれたことです。東京サラブレッドクラブの勝負服でレグナントの子供とレースに挑めるのは調教師冥利に尽きます。半姉は4月末にゲート試験に合格し、早期デビューが見込めます。母レグナントも6月の東京でデビューしたように、早い段階でレースを使える仕上がりの良さ、成長力がある特徴を備えていますので、本馬も早期デビューから勝利を重ね、母子二代の桜花賞の舞台を目指していきたいと思っています。

| | | |
|---------------|------------------|------------------|
| ディープインパクト | *サンデーサイレンス | Halo |
| Deep Impact | Sunday Silence | Wishing Well |
| 鹿 2002 | *ウインドインハーヘア | Alzao |
| キズナ | Wind In Her Hair | Burghclere |
| Kizuna | | |
| 青鹿 2010 | ストームキャット | Storm Bird |
| *キャットクイル | Storm Cat | Terlingua |
| Catequil | | |
| 鹿 1990 | パシフィックプリンセス | Damascus |
| | Pacific Princess | Fiji |
| メス | | |
| 鹿毛 | | |
| 2023.1.27生 | | |
| ロードカナロア | キングカメハメハ | Kingmambo |
| Lord Kanaloa | King Kamehameha | *マンファス |
| レッドレグナント | レディブロッサム | Storm Cat |
| Red Regnant | Lady Blossom | *サラトガデュー |
| 鹿 2015 | *クロフネ | *フレンチデピュティ |
| エンプレスティアラ | Kurofune | *ブルーアヴェニュー |
| Empress Tiara | | |
| 栗 2004 | *ゴールドティアラ | Seeking the Gold |
| | Gold Tiara | Bright Tiara |

Storm Cat: S3×M4 Mr. Prospector: M5×M5



管理予定調教師

大竹正博調教師(美浦)

◆1969年12月30日生 ◆2009年開業(16年目) ◆JRA通算350勝 ◆JRA重賞17勝 ※成績は2024年4月30日現在

【主な管理馬】

- プラストワンピース:有馬記念(G1)、AJCC(G2) ●ルージュバック:毎日王冠(G2)、オークス(G1)2着
- フレンチカクタス:フリーズレビュー(G2) ●ザダル:京都金杯(G3)、エプソムC(G3) ●ソーヴァリアント:チャレンジC(G3)2回
- ジェベルムーサ:エルムS(G3) ●グレーターロンドン:中京記念(G3) ●デアレガーロ:京都牝馬S(G3)
- ホウオウピースフル:フローラS(G2)2着 ●ピースワンパラディ:京都金杯(G3)2着



ファミリー(母系)

母の父 **ロードカナロア**は新ひだか産、年度代表馬、中央・香港13勝、香港スプリント-G1(2回)。主な産駒:アーモンドアイ(ジャパンC-G1 2回)、サトウツルナリア(皐月賞-G1)、ペラジオオペラ(大阪杯-G1)、パンサラッサ(サウジC-G1)、プレイドゥエーグ(エリザベス女王杯-G1)。【BMS:主な産駒】ドットクルー(毎日杯-G3 3着)、スマートフォルス(端午S-OP、エニフS-L 2着)

母 **レッドレグナント**(15 ロードカナロア) 4勝、多摩川S(芝1400m)、道新スポーツ賞(芝1500m)、サフラン賞(芝1600m)、アネモネS-L 2着。産駒ジョリーレース(22牝 栗 モーリス)未出走

祖母 **エンプレスティアラ**(04 *クロフネ) 2戦、入着。産駒**トライフォーリアル**(驕リアルインパクト) 2勝、障1勝、京都ハイジャンプ2着、東京ジャンプS 3着、阪神スプリングジャンプ5着、◎ジュンプロッサム(牡 ワールドエース) 3勝、ロードカナロアC、出雲崎特別、神戸新聞杯-G2 4着、共同通信杯-G3 4着、アーリントンC-G3 4着、◎

ボルドネス(驕 ハーツクライ) 3勝、石狩特別、佐賀公3勝、岩手公2勝
レッドアーヴィング(驕 アドマイヤムーン) 1勝、障2勝
タオヤメ(牝 ルーラーシップ) 1戦。産駒

ボルボラジール(牡 *ミニスターミニスター) 1勝、◎

曾祖母 ***ゴールドティアラ**(96 Seeking the Gold) 米国産、中央・岩手・東海◎9勝、マイルチャンピオンシップ南部杯-JPN1、プロキオンS-JPN3、シリウスS-JPN3、ユニコーンS-JPN3、かきつばた記念-JPN3、ギャラクシーS-OP、ゆうすげS、寒梅賞、フェブラリーS-JPN1 2着、平安S-JPN3 3着、クイーンC-JPN3 3着、南関東◎入着、かしわ記念-JPN3 3着。産駒

ゴールドデンハインド: 6勝、万葉S-L、札幌日経オープン-L、支笏湖特別、横津岳特別
ロングロウ: 5勝、上賀茂S、滝桜賞
ココシニク: 3勝。産駒

ステファノス: 4勝、富士S-G3、白百合S-OP、つばき賞、天皇賞(秋)-G1 2着、同3着、大阪杯-G1 2着、オールカマー-G2 2着、鳴尾記念-G3 2着、中山記念-G2 3着、香港入着、香港クイーンエリザベス二世C-G1 2着、香港C-G1 3着。種牡馬

フィニフティ: 1勝、クイーンC-G3 2着

配合診断

芝でスピードを活かせる産駒が目立つ配合、母は繁殖牝馬としての価値が上昇の予感

3代母ゴールドティアラを祖とするファミリーは活力旺盛。これまでにJRAで45頭出走し、半数を超える25頭が勝ち上がっています。そのなかにはステファノス(富士S)、フィニフティ(クイーンC2着)、ジュンプロッサム(神戸新聞杯4着)などが含まれ、母レッドレグナントも3歳春にオープンクラスのアネモネSで2着と健闘しました。繁殖牝馬として大いに期待できるでしょう。父キズナは現役時代に日本ダービー(G1)、ニエル賞(仏G2・芝2400m)などを勝ち、種牡馬としてはジャスティンミラノ(皐月賞)、ソングライン(安田記念2回、ヴィクトリアマイル)、アカイト(エリザベス女王杯)など多くの重賞勝ち馬を出しています。Storm Catのクロスを持つキズナ牝馬は、牡馬と違ってダート優勢の傾向は見られません。芝向きのマイラーとして期待できます。